

申し入れ書 ～平成30年度市民との意見交換会及び議会報告会を受けて～ に対する今後の対応予定等について

- A すぐに対応します。すぐに解決します。対応済みです。  
 B 翌年度に予算化し事業を実施します。翌年度から改善・制度化します。  
 C 次の実施計画に載せませす。県等に要望し事業採択を受けたら実施します。  
 D 今後、十分調査検討します。今後の施策に参考とします。  
 E 行政ではできません。

| 申し入れ事項  | 実現性 | 2019年度対応予定  | 2020年度以降対応予定  |
|---|-----|---|---|
| 公共交通空白地域へ乗り合いタクシー制度を創設するなど、各地区の実情に応じた実効性ある交通弱者対策の計画を策定すること。 | D   | <p>現在、交通空白地域である磯部地域において予約運行型バス「ハッスル号」がコミュニティバスとして運行しています。</p> <p>また、地域と住民のニーズに対応した、持続可能な公共交通システムの実現に向けて、実効性のある地域公共交通網形成計画を策定しているところです。</p> <p>なお、2019年度から浜島地区で地元の団体において、電気自動車の運行を行うことで高齢者などの移動支援を進めます。(総合政策課)</p> | <p>「ハッスル号」につきましては、より市民が利用しやすい運行となるようハッスル号協議会において運行改善に取り組みます。</p> <p>また、地域公共交通網形成計画の施策を実現するため、住民・交通事業者・行政との協働により、協議・検討を進めていきます。</p> <p>2019年度から浜島地区で電気自動車の運行を行い、実施状況を確認し他地区での運行についても検討していきます。(総合政策課)</p> |
| 県道船を継続させ、渡鹿野島への海上交通の利便性を確保すること。                             | C   | <p>県道船は2020年度末で廃止されますが、海上交通の確保のため県道船に代替する手段を検討します。(建設整備課)</p>   | <p>三重県と協議しながら、海上交通の確保のため県道船に代替する手段を実現するよう努めます。(建設整備課)</p>   |

|  |          |  |   |
|--|----------|--|---|
| <p>買い物弱者対策として、「とくし丸」のような移動販売を充実させるための施策を講じること。</p> | <p>D</p> | <p>高齢者や障がい者、公共交通網空白地に住む市民全体の買い物支援について、1つ目の施策として移動販売であるが、民間事業者独自の施策がある中、行政主体で事業を実施すると民業圧迫ともなるため、十分な検討が必要である。</p> <p>また、2つ目の施策として買い物代行があり、シルバー人材センターが独自の事業を行っている。</p> <p>この買い物代行は、新地域支援事業としても介護保険サービスの事業として扱っているため、要介護者は低価格で利用できる状況ではありません。</p> <p>市内においても地域によって要望が異なるため、自治会と意見交換をしています。</p> <p>その中でも、浜島地区では「浜島町まちづくり委員会」を立ち上げ、交通網対策や移動販売について協議しています。</p> <p>具体的には、わんさかわんさや旧浜島診療所跡地を利用して移動販売の拠点や市民の拠り所としていくことや、新しい形態の交通網の形成として、2019年度に軽自動車を購入して、浜島地区内の移動手段を確保していくことについて協議しています。(地域福祉課)</p> | <p>2019年度の浜島地区の状況を踏まえて、その他の地区についても自治会と協議していきます。</p> <p>また、今後も、人口・地形・高齢化率等、志摩市の特性と似た地域の施策を参考に有効な取組について検討していきます。(地域福祉課)</p> |
|--|----------|--|---|

|  |          |  |   |
|--|----------|--|---|
| <p>1 割削減が続いている自治会活動助成金を本来の助成額に戻すよう検討すること。</p>                                  | <p>B</p> | <p>市自治会連合会から、削減分の助成金を地域の自主防災活動や防災備品整備などに利活用したい旨の提案があり、地域防災力の向上も含め、人口減少の中、自治会活動をより活性化していただくため、現状の助成金について協議・検討した結果、2019年度予算については、平成21年度から継続している自治会助成金の減額措置を廃止し、本来の助成額として計上した予算案を3月定例議会へ上程しました。(人権市民協働課)</p>                                    | <p>市自治会連合会と協議・調整しながら意見を取り入れ、社会情勢や物価情勢に応じた助成金の算定方法を共に考え精査し、合意のもとで自治会助成金交付要綱の改正を進めていきたいと考えています。(人権市民協働課)</p>                    |
| <p>横山展望台 横山天空カフェテラス(カフェコーナーおよび無料休憩スペース)の年末年始も含めた営業時間について、関係機関等と見直しを協議すること。</p> | <p>A</p> | <p>当分の間、無休対応しています。(観光商工課)</p>  | <p>当分の間、無休対応しています。(観光商工課)</p>   |
| <p>廃校となった学校に残されている貴重な資料や備品等、地域の歴史的価値のある資料を整理し後世に継承すること。</p>                    | <p>A</p> | <p>廃校となった学校に残されている貴重と思われる資料や備品等については、歴史民俗資料館や市立図書館の職員にその都度確認してもらい、これまでに、越賀小学校にあった戦前の絵葉書や関東大震災の新聞記事、安乗小学校にあった木製の鋏や藁折機、成基小学校にあった茶釜や鐘、布施田小学校にあった鬼瓦など、歴史的に貴重な資料や備品については歴史民俗資料館へ寄贈して保管していますが、確認途中のものもあるため、残された未確認の資料や備品については今後確認を行います。(学校教育課)</p> | <p>今後も引き続き未確認の資料や備品について確認作業を行い、貴重な資料や備品については歴史民俗資料館や市立図書館へ寄贈・保管していきます。また、それらの資料や備品については後世に継承していくための方法について検討していきます。(学校教育課)</p> |

|  |          |   |  |
|--|----------|---|--|
| <p>避難所の高台移転を検討すること。</p>                                    | <p>D</p> | <p>公共施設を更新する場合には、地区の意向を確認し、積極的に高台移転を検討します。(財政経営課)</p> <p>(財政経営課の上記文章を受けて)</p> <p>高台移転が完了し、避難所として指定できる施設については、避難所として指定していきます。(地域防災室)</p>   |  |
| <p>避難所備品(特に発電機、段ボール製簡易トイレ)を整備するとともに、避難者の受け入れ環境を改善すること。</p> | <p>A</p> | <p>これまでも毛布や間仕切りセットなど避難所運営用品の購入を進めてきたところですが、今回の停電による避難所運営においては、指定避難所に備える発電機が不足しているという大きな課題を認識したことから、避難所における良好な生活環境の確保に向け、災害対策における警戒体制に開設する指定避難所28か所すべてに発電機を備えるよう、平成31年度当初予算において予算措置していく予定です。</p> <p>また、発電機のほかLED投光器、コードリールや業務用扇風機もあわせて購入していく予定です。(地域防災室)</p> | <p>平成30年度までプラスチック段ボール製の簡易トイレを購入してきており、県の備蓄・調達基本方針では、携帯・簡易トイレ150基が必要とされているところ、志摩市は約1,400基の備蓄をしています。しかし、避難者が使用する回数分の処理剤については、県の備蓄・調達基本方針では119,700回分が必要とされているところ、志摩市は約104,000回分の備蓄状況のため、目標数まで処理剤の購入を進めていきたいと考えております。(地域防災室)</p> |
| <p>空き家除却への補助金制度を創設すること。</p>                                | <p>B</p> | <p>地震時に倒壊する危険の高い昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅で、耐震性の低い空き家を対象に予算化し実施します。(都市計画課)</p>  |  |